

平成29年度小松島市事務事業評価シート

■事業の位置づけ（基本事項）				整理番号	4 - 3 - 10
事務事業名	排水機場管理運営事業			担当課係	都市整備課
総合計画上の位置付け	政策	① 安全・安心で快適に暮らせるまちづくり		記入担当者	
	基本目標	1. 安全・安心なまちづくり		内線等	
	施策	1-1 安全・安心な日常生活の確保		E-mail	
	基本方針	1-1-1 防災・減災対策の推進			
事業の実施主体	市（委託・補助事業含む）			事業区分	経常事業
事業予算費目	款	8	土木費	項	7 都市計画費
	目	3	都市下水路	事業	1 排水機場管理運営事業
開始年度		年度	根拠法令・要綱等		

■事務事業の概要（実施内容）	
事業の対象	（誰の、何のために事業を実施するのか） 市民の生命・財産を対象として、降雨時の浸水被害の防止・軽減を図るため、市が管理する排水機場及び樋門の維持管理を行う。
事業の目的 （意図）	（事業実施によってどういう状態にしたいのか） 市内にある排水機場の効率的な運転及び適正な維持管理を行い、降雨災害の防止・軽減を図り市民の生活環境を守る。
事業の内容 （内容・手法等）	（どういった仕事の内容で、どのような手法・手順で実施しているか） 直営及び委託により、各排水機場及び樋門を適正に運転操作・点検・維持管理し、降雨時の浸水被害の防止・軽減を図る。
事業の背景 （経緯等）	（事業開始の背景やこれまでの経緯） 現在、海岸堤防の高潮対策で徳島県が二級河川に設置した排水機場6箇所、及び市街地の浸水防除を目的とした都市計画事業で市が設置したポンプ場や小規模な内水排除の施設など28箇所を管理している。

■事務事業の業績・推移（目標・実績）

成果指標	指標名		指標の説明				指標化できない成果
	管理する排水機場の箇所数						
	単位	H28	H29	H30	H31	目標年度 目標値	
箇所	目標	34	34	34	34		
	実績	34	34				
	達成度	100.0%	100.0%				

活動実績・参考となる指標	指標名	単位	H28	H29	H30	H31	指標の説明
	整備工事等の実施箇所数		箇所	計画	5	3	3
実績				5	3		
業務委託料		円	計画	15,695,000	19,505,000	23,690,000	
			実績	22,639,970	16,948,700		
工事請負費		円	計画	20,787,000	13,230,000	14,096,000	
			実績	16,506,560	11,599,200		
			計画				
			実績				

■事務事業に係るコストの業績（目標・実績）

（単位：円）

		28年度決算	29年度決算	29年度予算	30年度予算		
全体コスト（円）	関連事業費	A 直接事業費	59,239,897	47,759,290	54,492,000	61,293,000	
		財源内訳	国県支出金	15,923,255	18,479,004		
			地方債	17,300,000	11,700,000		
			利用者負担				
			一般財源	26,016,642	17,580,286		
	B 人件費 ①×②	1,711,488	1,433,446				
	職員平均人件費①	5,704,960	4,778,153				
	従事した割合②/人	0.30	0.30				
	A + B	60,951,385	49,192,736				
	単位コスト	活動指標の説明	一箇所あたりのコスト	一箇所あたりのコスト	備考		
	活動指標 1 単位当たりコスト	1,792,688	1,446,845	平成28年4月1日現在 人口39,358人			
	市民一人あたりのコスト	1,549	1,267	平成29年4月1日現在 人口38,817人			

■事業を取り巻く環境

国・県・他団体の動向や環境変化と今後の予測	(社会状況、法改正、規制緩和、周辺の状況等や今後の予測) 国内各地で集中豪雨等による大規模水害が頻発しており、浸水・洪水対策として排水機場管理の重要性は増している。
事業に対する住民の意見	(意識調査・議会質疑等、事業に対する期待・要望・苦情など) 流域の浸水被害の防止・軽減を図る排水機場については、地域住民も関心が高く、大雨警報発令時等は排水機場の稼働状況についての問い合わせや排水能力の増強等の要望もある。

■項目別評価・今後の課題

評価項目	評価結果 (該当にチェック)	判断理由・評価コメント (具体的に記入すること)
必要性 (市民ニーズ)	<input type="radio"/> ① 必要性が高い	市民生活の安全安心を守る浸水・洪水対策として、排水機場管理運営事業は不可欠である。
	<input type="radio"/> ② どちらかといえば必要性がある	
	<input type="radio"/> ③ 必要性が低い	
	<input type="radio"/> ④ 必要性がない	
妥当性 (市で行わなければならないか)	<input type="radio"/> ① 市が行わないといけない	大雨警報発令時等において、市役所内の各関係課と連携し、二級河川管理者である徳島県や近隣自治体等との連絡調整が必要であることから、市が継続して実施するべきである。
	<input type="radio"/> ② どちらかといえば市で実施	
	<input type="radio"/> ③ 必然性が低い	
	<input type="radio"/> ④ 必然性がない	
効率性 (事業の手法は効率よいが、コスト削減の余地はないか)	<input type="radio"/> ① 効率的である	排水機場の運転・維持管理や電気工作物の保安管理は業務委託している。
	<input type="radio"/> ② どちらかといえば効率的	
	<input type="radio"/> ③ どちらかといえば非効率的	
	<input type="radio"/> ④ 非効率的	
緊急性 (他事業に優先し、実施する必要があるか)	<input type="radio"/> ① 緊急性が高い	低地が広がる沿岸部地域である本市においては、浸水被害の防止・軽減に繋がる排水機場の適正な維持管理は他事業に優先し実施する必要がある。
	<input type="radio"/> ② 比較的緊急性がある	
	<input type="radio"/> ③ 緊急性が低い	
	<input type="radio"/> ④ 緊急性はない	
成果 (目的の達成状況)	<input type="radio"/> ① 成果が上がっている	排水機場等を運転稼働することにより、大雨時の浸水・洪水被害防止に効果をあげている。
	<input type="radio"/> ② どちらかといえば上がっている	
	<input type="radio"/> ③ どちらかといえば上がっていない	
	<input type="radio"/> ④ 成果は上がっていない	
今後の課題	施設の運転・維持管理を行う管理人の確保や近年の原油高に伴う燃料費等の経費増加、排水機場の老朽化に伴う維持修繕費の増加など課題も多い。また、近年頻発する集中豪雨による内水の迅速な排除が行えるよう、気象状況の把握等、適切に対応できる体制が必要である。	

■一次評価 (評価点は目安とし、総合的な評価をすること)

評価	事務事業の方向性	1 拡 充 す る	80 点 以上	評価点による判定	判定に至った理由
		2 現状のまま継続する	60 ~ 79 点		
2		3 改善・効率化し継続	40 ~ 59 点	評価点	大雨などによる浸水被害の防止軽減を目的とした不可欠な事業であり、排水機場の整備・点検は定期的実施していく必要がある。
		4 終期設定し終了	20 ~ 39 点	2	
		5 完了・休止・廃止	19 点 以下		

■改善・効率化の方向性 ※一次評価の判定が3の時は、必ず記入すること。

【具体的な改善等取組内容 (方向性・対象・手段等について記述)】

■二次評価 (所管担当の一次評価を、総合評価し判定すること)

評価	事務事業の方向性	1 拡 充 す る	判定説明
		2 現状のまま継続する	
2		3 改善・効率化し継続	排水機場の機械・電気設備類の点検及び修繕・更新を計画的に実施し、適切な維持管理を行うことで、浸水被害の防止・軽減を図り、引き続き安全・安心なまちづくりの実現に寄与する。
		4 終期設定し終了	
		5 完了・休止・廃止	